

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立越生高等学校)

目指す学校像	生きる力を育み、夢を実現する学校
--------	------------------

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 少人数授業(指導)を活用して「わかる授業」を創造し、学習意欲を高め、基礎学力・専門的な能力を定着・向上させて、生きる力を育む。 2 豊かな心と自主的・自律的な態度を育み、普通科及び美術科のそれぞれの特色を生かした自己の在り方生き方を考えさせ、夢を実現するための、生きる力を育む。 3 生徒、保護者、地域、教職員の信頼関係を深め、高い意欲を持った入学志願者の確保にもつながる開かれた学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○学習習慣や基礎学力の定着を図るため、「わかる授業」の展開と意欲的に学習する生徒に対する取組を強める必要がある。	○わかる授業の展開	○県の事業を活用した少人数・習熟度別授業、補習等を通年で実施する。 ○授業改善のための研究授業週間を設ける。	○授業がわからないと答えた生徒が前年度比5%減。 ○授業改善のための研究授業、研修会を実施できたか。		
		○学習習慣の定着	○始業時間の厳守と授業規律の徹底を図る。 ○各種検定に向けた補習、家庭学習モデルプランを実施する。 ○学習サポートを活用し、個に応じた指導を行う。	○学習に意欲的に取り組んでいる生徒が前年度比30%増。 ○各検定試験合格者数前年度比20%増。 ○成績優良者が各学年前年度比10%増、欠点保有者が各学年前年度比10%減。		
2	○学習環境を整えるため、引き続きマナーや規範意識を身につけさせる指導が必要である。また、友人関係等悩みを持つ生徒への支援の一層の充実が必要である。 ○卒業後の進路について取り組んでいるが結果に結びつける努力をしている生徒が少ない。主体的な進路選択への具体的支援が必要である。	○マナーや規範意識の定着と基本的な生活習慣の確立	○日常的な整容指導ときめ細かなマナー指導、遅刻指導を行う。	○懲戒件数・人数が前年度比10%減。 ○遅刻者数が前年度比20%減。		
		○心の教育の充実	○教育相談体制を整え、個々の教員と連携を図り、SC及び特別支援巡回支援員を有効活用する ○学校満足度調査をし、指導及び個別相談に役立てる。	○ソーシャルスキルトレーニング、教育相談を有効活用できたか。		
		○主体的な進路選択への支援	○「進路の手引き」やHRで精選した情報を提供する ○生徒の実態に応じた指導及び個別相談、諸テストを実施する。	○進路未決定者数が前年度比30%減。 ○高卒後の進路を考えていると答える生徒が前年度比20%増。		
3	○生徒募集人員確保の観点からも、本校の教育活動の特色を中学校や地域により強くPRすることが必要である。 ○PTA活動へ、より多くの保護者の参加を働きかける必要がある。	○組織的、計画的な広報活動	○定期的に広報誌を発行するとともにHPで積極的に情報発信する。 ○中学校、地域への情報発信の機会を増やし、活発なPR活動をする。	○入学志願生徒数10%増。 ○学校説明会の参加者数の合計が増加したか。 ○学校通信、行事通知文をHPに掲載し、本校の取り組みを広めることができたか。		
		○生徒を支援するPTA活動の充実	○HPに保護者向けサイトを設置し、学校行事、PTA関連記事を充実させ伝えていく。	○PTA活動に参加する保護者数が前年度比20%増。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		